

宮崎女子短期大学紀要25年の歩み

Looking Back on Twenty Five Years' History of the Bulletin of Miyazaki Women's Junior College

発刊の経緯

宮崎女子短期大学は昭和40年に開学された。初代学長には綾 哲一氏が就任。開学の年には保育科のみであったが、41年には国文科が、また42年には初等教育科がそれぞれ開設されるに至った。宮崎女子短期大学紀要第1集の創刊は、この翌年、つまり昭和43年になされている。開校から3年が経過した。

第1集の巻頭には、初代学長綾 哲一氏の次のような序が付されている。

本学には学園通信が毎年三回ずつ発刊されているが、これは宮崎学園全体に関するもので、学問的というよりは、むしろ学園の状況報告を主としたものであり、短期大学に割り当てられたスペースも少く、執筆者も自ら限られているので、是非本学だけの研究紀要を発刊するよにとの希望が、かねてから各研究室から出されていた。しかし、短期大学、特に本学のように各科にわたり、二種以上の資格や免許状を与える短期大学は、四年生大学などには想像もできないような忙しきで、心ならずも建設、講義、実験、実習、就職斡旋などに追われ、荏苒日を空うして今日に至ったのである。しかし、本学もようやく建設期を終って大学本来の研究期に入り、多忙な仲にも各研究室において、それぞれ貴重な研究成果があげられつつあるので、ここにこれらの一部をまとめて、とりあえず研究紀要第一集を発刊して世に問うことにした。しかし、紙面の都合もあって、各研究室の希望を全部満足させることができなかったことは遺憾である。それにしても、このような研究は長く継続することが第一であるから、最初はいくらか控え目にして、ひき続き第二集にそなえたいと思っているので、各研究室のご諒承を得たい。

なお、これまで貴重なご研究をいただいた全国の各大学に対し、衷心より感謝の意を表し、遅ればせながら本紀要を寄贈して、これまでのご厚志にこたえ、あわせてご叱正と、ご教示を仰ぐ次第である。」

これによれば、発刊の経緯はおおよそ以下のように要約できる。当時、近況報告的な学園通信はあったが、学問的な研究発表の場がなかったこと、しかし短期大学の特殊な事情もあって、意欲はありながらも発刊できなかったこと、また掲載論文については、紙面の都合上、余儀なく選択に迫られたことなどが読み取れる。

各号〈集〉の掲載論文・著者名等一覧

研究紀要第1集 1968年8月10日発行	B5判84頁
論文名	著者名
・序	綾 哲一
・英語の語法―強意の表現について	池田亮一郎
・家庭生活を基礎とした家庭経営	横山ユキオ
・体育指導資料の実態調査	土屋 満美
・序詞修辭論考	渡久地政幸
・和歌の伝統を探る―その一つの古今的なもの―	野崎 親
研究紀要第二集 1969年8月10日発行	B5判75頁
論文名	著者名
・女子短大生の実体とその教育	綾 哲一
・中世における舞歌劇芸能の成立と地方伝播について	石川 菊雄
・イギリスの教育（3）	
フリー・グラマー・スクールの特質について	池田 良三
研究紀要（3）（1972年2月15日発行）	B5判73頁
論文名	著者名
・ハロースクールの教育法―勅許状の研究―	池田 良三
・我が国の政党	海上 利武
・琉歌の同韻対偶叙法の表現法	渡久地政幸
研究紀要4（1973年2月15日発行）	B5判162頁
論文名	著者名
・女性と美	綾 哲一
・ハロースクールの教育―チャールズ・ヴォーンの改革―	池田 良三
・小学校理科授業物理部門の指導における理科実験セットについて	大坪 昭裕
・私学の立場から宮崎県高等学校再編成問題を考える	大坪 孝雄
第1報：今後9年間の高等学校進学予定数から見た県立高等学校再編成計画に対する要望	
第2報：最近4年間における宮崎県立高等学校（全日制）の学科別・男女別の志願者及び合格者の状況分析より見たる本県高等学校の再編成	
第3報：昭和48年度に実施された県立高校再編成の状況と私立学校との関連	
第4報：宮崎県の私立中学高等学校に対する公費助成について	
第5報：宮崎県私立中学高等学校に対する昭和48年度県費補助金の追加要求及び昭和49年度同予算に対する要望について	
・幼児の運動能力に関する基礎的研究	大坪孝雄・大坪邦資
第一報：立位、座位及び臥位における幼児の心搏動数の変化	

研究紀要－1975－第5集 1975年4月発行

B5判75頁

論文名

著者名

- ・イギリスの教育（9）カレッジの歴史

池田 良三

シュローズベリーの聖メアリ・カレッジ

- ・私学の立場から宮崎県高等学校再編成問題を考える

大坪 孝雄

第6報：宮崎県高等学校振興計画に基づいて宮崎市に新設される普通科高校の設置に対する私学の要望

第7報：宮崎県私立中学高等学校に対する昭和49年度県費補助金の状況及び昭和50年度予算に対する要望

- ・幼児の数概念の発達に関する研究

大坪邦資・大坪孝雄

第1報：幼稚園児の実物を数えた数及びその速度ならびに数詞を唱えた数に関する年令別の発達及び性差について

紀要研究－1976－第6集 1976年7月発行

B5判114頁

論文名

著者名

- ・私学の立場から宮崎県高等学校再編成問題を考える

大坪 孝雄

第8報：宮崎県内各地域における中学卒業者の激減傾向と、これに対応すべき宮崎県高等学校振興計画に対する私学の要望

第9報：第一次生徒急増期に果たした宮崎県私学の役割と功績及び九州各県の状況から見た宮崎県立高校振興計画に対する要望ならびに昭和51年度宮崎県私立高校の生徒数の状況

- ・本学園女子学生、生徒の体力、運動能力に関する考察

第1報：宮崎女子短期大学学生の体力・運動能力について

大坪邦資・原崎正司・小嶋秋子・大坪孝雄

- ・イギリスの教育（10）カレッジの歴史（2）

コールドスミス・カレッジ

池田 良三

研究紀要－1978－第7集 1978年3月発行

B5判121頁

論文名

著者名

- ・幼児の数概念の発達に関する研究

大坪 邦資

第2報：幼稚園児の実物を数えた数及びその速度、数詞を唱えた数、足し算、引き算ならびに順序数の理解に関する年令別の発達及び性差について

- ・私学の立場から宮崎県高等学校再編成問題を考える

大坪 孝雄

第10報：宮崎県内私立学校に対するいわゆる「過疎対策」のための基礎的資料について

- ・イギリスの教育（11）カレッジの歴史（3）

池田 良三

ロンドンのキングズ・カレッジ

- ・「民話の意識」－わが短大生のレポートを基に

矢口 裕康

研究紀要－1980－第8集 1980年3月発行	B5判54頁
論文名	著者名
・イギリスの教育（12）カレッジの歴史（4）	池田 良三
シックス・フォーム・カレッジ	
・「昔ばなし資料観」－新潟県を基に－	矢口 裕康
宮崎女子短期大学研究紀要 第9集 1982年3月17日発行	B5判62頁
論文名	著者名
・猿蟹絵本小考	矢口 裕康
・観察学習における概念内転移と概念開転移	佐藤 容子
－認知モデリングと概念訓練の効果－	
・ジェラルド・E・スローフ	加治佐哲也
『州教育委員と教育政策』	
・米良神楽の音楽～狩猟文化圏の神楽の一例～	黒木亜美子
・ヨハン・オットによる歌曲選集	多田 晴美
「121の新しい歌」におけるゼルフルのリート	
宮崎女子短期大学研究紀要 第10集 1983年3月1日発行	B5判42頁
論文名	著者名
・帆足万里の初稿『窮理通』について	壺井 秀生
・米国の教育行政における州教育長の影響力	加治佐哲也
・吉永ゆきの詩による三つの女声合唱曲	斉藤 正浩
宮崎女子短期大学 紀要 第11号 1984年2月発行	B5判79頁
論文名	著者名
・記憶文における情報統合が扇状効果（fan effect）に及ぼす影響	栗山 和広
・宮崎市の神楽の音楽－生目神楽の場合－	黒木亜美子
・《算経十書》における算学カリキュラムの意義	山内芙美子
・幼児音楽教育夏季講座を受講して	小野 智子
・三浦梅園の条理的倫理観	壺井 秀生
宮崎女子短期大学 紀要 第12号 1986年3月発行	B5判128頁
論文名	著者名
論文	
・三浦梅園の条理的倫理観（II）	壺井 秀生
・フラッティング法におけるCS提示の有効性について（マウス）	鈴木 順和
・早物語伝承の様態－山形県庄内地方を中心に－	矢口 裕康

・集団所属と集団による影響	元木 久男
・明倫堂文庫蔵 宇井黙斎（崎門学派）の講義筆記の言語	平澤 啓
・宮崎市の神楽の音楽（II）－小松神楽の場合－他地域との比較	黒木亜美子
・《知不足齋叢書》にみえる算經書の位置	山内芙美子
研究ノート	
・保育科学生の保育意識	山口 孝道
・幼児の運動能力に関する基礎的研究	原崎 正司
論評	
・養護施設への提言	内田 知己
<hr/>	
宮崎女子短期大学 紀要 第13号 1987年 3 月発行	B5判165頁
論文名	著者名
論文	
・宮崎市の早期英語教育の現状	上野 直子
・宮崎市の神楽の音楽（III）－大島神楽の場合－	黒木亜美子
・女子短大生の体力の一考察	小玉寿々代
－本学の体育実技授業が体力に及ぼす影響について－	
・すぐれた短期大学英语科の条件	シシン・アレキサンダー
・保育園児の食生活調査－家庭における食事の実態－	杉田 伸
・回避反応の消去に及ぼす拘留および反応阻止の効果（ラット）	鈴木 順和
・言語学習における動機づけとパーソナリティの要因	ベーカー・リチャード
・発心集と鴨長明	服部 七郎
・絵本と民話	矢口 裕康
資料	
・福建会館総簿（辛丑年～丙午年）について	黒木 國泰
翻訳	
・「45年間のホワイトヘッド研究を回顧して」	
「ホワイトヘッドの抱握理論」（チャールズ・ハーツホーン）	大塚 稔
<hr/>	
宮崎女子短期大学 紀要 第14号 1988年 3 月発行	B5判135頁
論文名	著者名
論文	
・短大秘書教育の現状と問題点	貴島 一郎
・幼児の数表象の構造	栗山和広・吉田 甫
－加減算問題におけるストラテジー分析	
・宮崎市の神楽の音楽（IV）①	黒木亜美子
－広原神楽と島之内神楽（i）－	
・ジェイムズ・フェットラーの短編「貧乏なまでの欲望」の分析	シシン・アレキサンダー

・回避行動の消去における道具的反応と情動的反応の独立性に関する研究 ーフラッディング法を用いてー	鈴木 順和
・日本人のEFL学習における技能習得の特異性 ースピーキング技能の低さについてー	ベーカー・リチャード
・「障害」および「障害者」をめぐる概念化についての一考察	元木 久男
・ギスたれ考ー中村地平と宮崎ー	矢口 裕康
・三浦梅園の条理思想	壺井 秀生
・明倫堂文庫蔵 宇井黙斎（崎門学派）の講義筆記の言語（II）	平澤 啓
調査資料	
・宮崎県の公立学校の教育目標	加治佐哲也他

宮崎女子短期大学 紀要 第15号 1989年 3 月発行	B5判160頁
論文名	著者名
論文	
・短期海外研修中の学生の文化への適応の過程	上野 直子
・幼児の数表象の構造ー教授介入からの検討ー	栗山和広・吉田 甫
・宮崎市の神楽の音楽（IV）② ー広原神楽と島之内神楽（ii）ー	黒木亜美子
・リズム・表現運動学習についての一考察 ーラバンセンター国際夏季舞踊研修会におけるラバンテクニクに併せてー	小嶋 秋子
・女子短大生の全身持久力のトレーニング効果	小玉寿々代
・JO-CHANの世界ー日米文化の軋轢ー	シシン・アレキサンダー
・宮崎県の幼児の運動能力に関する調査 ー1986年全国調査との比較ー	鈴木順和・原崎正司
・第二言語の形態素の習得 ー自然な習得順序は一通りではないのかー	ベーカー・リチャード
調査資料	
・中学校・高等学校の校則に関する調査	加治佐哲也他
翻訳	
・全能なる神 ー伝統的な神学に見られる六つの誤謬ー（チャールズ・ハーツホーン）	大塚 稔

宮崎女子短期大学 紀要 第16号 1990年 3 月発行	B5判208頁
論文名	著者名
論文	
・東京・青山におけるブティック集積地域	岩動志乃夫
・幼児の数表象の構造ー3歳児の数表象についてー	栗山和広・吉田 甫
・宮崎市の神楽の音楽（V）	黒木亜美子

- 新名爪神楽①～他地域との比較—
- ・パトリック・ガバナーの「大いなる飢え」の分析 シシン・アレキサンダー
 - 悲惨なる人生—
 - ・田中ビネー知能検査法新・旧版の比較検討 鈴木 順和
 - 幼児を対象として—
 - ・山田孝雄と Henry Sweet の方法 塚本 泰造
 - 「陳述論争」で取り残された2, 3の用語について—
 - ・宮崎県の幼児の運動能力に関する調査 原崎正司・鈴木順和
 - 体格と運動能力の関係について—
 - ・短期海外研修のヒアリングとその関連技能, ベーカー・リチャード
 - 自信への影響 上野 直子
 - ・英語学習者の要件—実際と工夫— ル・ルー・ミッシェル
- 翻訳
- ・全能なる神(2) 大塚 稔
 - 伝統的な神学に見られる六つの誤謬— (チャールズ・ハーツホーン)
- 翻刻
- ・今山八幡宮所蔵本『建礼門院右京大夫集』翻刻 後藤多津子・田中司郎
 - 塚本泰造・原田真理

宮崎女子短期大学 紀要 第17号 1991年3月発行
論文名

B5版256頁
著者名

論文

- ・宮崎の帰化植物 荒木 徳蔵
- ・／r／についての一考察 市崎 一章
- ・子どもの既有知識に基づいたカリキュラム構成 栗山 和広
- 分数単元について—
- ・分数概念の習得過程に関する発達的研究 栗山和広・吉田 甫
- ・宮崎市の神楽の音楽(VI) 黒木亜美子
- “網”を使う神楽：高屋神社神楽における「蛇切り」の演目を中心にした考察—
- ・イギリス高等教育に関わる国家政策の基盤形成 高妻紳二郎
- 1919年大学補助金委員会設置をめぐる史的系譜を中心に—
- ・女子短大生の生活状態別に見た体力の検討 小玉寿々代
- ・幼児における運動能力と性格との関連 鈴木 順和
- ・山田文法の比較対象表(上) 塚本 泰造
- 一つの「定本」の試み—
- ・幼児の運動能力に関する研究(I) 原崎正司・鈴木順和
- 10カ月後の運動能力の変化—
- ・マウス白血病細胞への薬剤耐性遺伝子の移入と文化誘導 日高英幸・山越 智・大石道夫

- ・幼稚園教育の指導法と指導案についての研究 米倉 春良
 －新教育過程を現場から考える－
- ・源順「あめつちのうた」注釈 原田 真理
- 翻訳
- ・全能なる神（3） 大塚 稔
 －伝統的な神学に見られる六つの誤謬－

宮崎女子短期大学 紀要 第18号 1992年3月発行

B5判113頁

論文名

著者名

論文

- ・大学生にみる東京と地方の魅力 岩動志乃夫
 －宮崎の大学生を対象として－
- ・これからの保育の展開 大坪 邦資
- ・幼児の数表象の構造－具体物課題による検討－ 栗山 和広
- ・幼児の運動の運動能力関する研究（II） 鈴木順和・原崎正司
 －同一地域における幼稚園児と保育園児の比較－
- ・『古今集遠鏡』訳出の一傾向 塚本 泰造
 －接続表現の新旧－
- ・紙を基底材とした水性コログラフの研究 唐下 美輪
- ・『御伽草子』の禁止表現 田中 司郎
 －「な・・・そ」「・・・な」について
- ・『蛇』小論 前田 淳

翻訳

- ・『時間的有神論』 大塚 稔
 ハーツホーン，リース編著『哲学者の神』（第六章）より

宮崎女子短期大学 紀要 第19号 1993年3月発行

B5判152頁

論文名

著者名

論文

- ・これからの保育の展開（II） 大坪 邦資
- ・宮崎県の7地域における将来の中学校卒業者の予測 大坪孝雄・大坪勝郎
- ・幼児の数表象の構造 栗山 和広
 －5歳児の具体物を用いた分解課題の方略分析－
- ・宮崎の神楽の音楽 黒木亜美子
 －門川神楽の場合（i）－
- ・Agraphia vs Dementia 判別スケール作成の試み（I） 鈴木 順和
- ・有機体の哲学と言語習得論 吉間 保
- ・幼児の社会性の発達に関する研究（I） 鈴木順和・脇 孝子・米倉春良

－社会的スキル訓練を通して－

- ・『梁塵秘抄』、『閑吟集』、『神楽歌』、『催馬楽』
の禁止表現

田中 司郎

翻訳

- ・「万有在神論の論理」
ハーツホーン，リース編著『哲学者の神』（エピローグ）より

大塚 稔

備考：

1. 紀要タイトルは，ほぼ発刊当時のままに記してある。
2. 研究紀要（3）の号数と研究紀要4の発行年月日については，奥付がなく，発刊年月についても記載がない。やむをえず作成者の側で一定の資料に基づいて補足した。
3. 紀要第12号は，二度作成された。1985年版の12号については諸般の事情から，公刊に至っていない。以下はその論文名と著者一覧である。

・保育科学生の保育意識	山口 孝道
・養護施設養護への提言	内田 知己
・宮崎市の神楽の音楽（II） 小松神楽の場合～他地域との比較～	黒木亜美子
・《知不足斎叢書》にみえる算經書の位置	山内芙美子
・三浦梅園の条理的倫理観（II）	壺井 秀生
・早物語考 採訪と研究	矢口 裕康
・礼法と姿勢について	川野クニエ
4. 1986年度版の第12号より表紙に年度表記が加えられた。ここでは年度表記を割愛して発行日を西暦で記した。また同号より表紙にも論文，研究ノート，論評等の内容区分が付加され，同時に欧文タイトルも併記される。
5. 1986年（昭和61年）版12号より，ISSN（国際標準逐次刊行物番号）が割り当てられる。

総 括

研究紀要第1集が昭和43年（1968年）に創刊されてから、平成5年（1993年）現在までにちょうど四半世紀が経過した。本短期大学も、紀要発刊当時の3学科から、現在では音楽科並びに英語科を加え、5学科を擁する短期大学に成長している。本年3月には第19号が発刊された。これまでに協力頂いた執筆者は、延べ141人、また掲載論文数は翻訳、資料等を含め131に達している。内容も、教育学、教育行政、神楽音楽、音楽理論、心理学、神学、倫理学、社会学、芸術理論、体育理論、細胞遺伝学、生物学、国文学、国語学、英語音声学、英語教育等、多岐に渡る。

過去25年間の紀要の歩みを目次で回顧するだけでも、色々なことが想起される。綾 哲一先生の序に見られるような強い意欲がこの紀要を生む契機になったこと。その意欲は、第2集、第4集に自ら筆を取られ寄稿されている事実に見い知ることができる。またこの四半世紀の間には、既にご逝去された先生、退職された先生、あるいは転職された先生方もおられる。その名と共にそれぞれの御高論も刻まれている。本学紀要が、それぞれの学問分野で、どれほどの貢献ができたのかは軽々に判断すべき事柄ではないが、先生方の渾身の御高論が埋もれたままになることなく、本学紀要にしかと記されている事実こそ、紀要本来の意味があるものとする。第20号発刊を機会に、ささやかな一覧表を付した所以である。

成人式を迎えた本学紀要が、忠実にそれぞれの御高論を今後とも刻みつけられることを願って総括としたい。

作成 紀要編集委員会
代表 大塚 稔